

平成 27 年国勢調査 世帯構造等基本集計結果の概要

総務省から、9月27日（水）に公表された「平成27年国勢調査 世帯構造等基本集計結果」の本県分の概要については、次のとおりです。

【概要】

家族類型別一般世帯等の推移（平成22年・平成27年）

	実数（世帯）		増減率（%）	割合（%）注2）		前回との差 （ポイント）
	平成22年	平成27年		平成22年	平成27年	
総世帯	383,439	391,171	2.0			
一般世帯注1）	382,431	390,313	2.1	100.0	100.0	
単独世帯（一人暮らし世帯）	92,449	102,059	10.4	24.2	26.3	2.1
核家族世帯	206,234	214,427	4.0	53.9	55.2	1.3
その他の世帯	83,671	72,228	△ 13.7	21.9	18.6	△ 3.3
（再掲）3世代世帯	61,692	51,503	△ 16.5	16.1	13.2	△ 2.9
（再掲）母子世帯	4,682	4,613	△ 1.5	1.22	1.19	△ 0.03
（再掲）父子世帯	573	616	7.5	0.15	0.16	0.01

注1）一般世帯の実数には、世帯の家族類型「不詳」を含む。

注2）割合（%）は、一般世帯（世帯の家族類型「不詳」を除く）に占める各世帯の割合をいう。

【今回のポイント】

○親子の同居・非同居（詳細は2、3頁に記載）

- ・親との同居割合は40.6%（全国33.8%）で全国第4位（H22 43.0% 5位）
- ・男女、未婚・有配偶別に年齢5歳階級ごとに全国と比較すると、すべての区分で全国よりも高い割合となっている。

○3世代世帯

- ・3世代世帯数の割合は13.2%（全国5.7%）で全国第5位（H22 16.1% 5位）

○母子世帯

- ・母子世帯数の割合は1.19%（全国1.42%）で全国第44位（H22 1.22% 44位）

○父子世帯

- ・父子世帯数の割合は0.16%（全国同率）で全国第33位（H22 0.15% 41位）

〈用語の解説〉

一般世帯・・・国勢調査では、世帯を「一般世帯」と「施設等の世帯」の2種類に区分しており、「一般世帯」とは社会施設の入所者、入院者などから成る「施設等の世帯」以外の世帯をいう。

母子世帯・・・未婚、死別又は離別の女親と、その未婚の20歳未満の子供のみから成る一般世帯をいう。

父子世帯・・・未婚、死別又は離別の男親と、その未婚の20歳未満の子供のみから成る一般世帯をいう。

1 親子の同居・非同居

親と同居している者の総数は 430,592 人であり、総人口に占める親との同居割合は 40.6%で全国（33.8%）に比べ 6.8 ポイント高い。また、前回調査（平成 22 年）割合の 43.0%に比べ 2.4 ポイント低下している。

男女別にみると、男性で親と同居している者の数は 227,515 人であり、総人口に占める親との同居割合は 44.4%で全国（36.1%）に比べ 8.3 ポイント高く、一方、女性で親と同居している者の数は 203,077 人であり、総人口に占める親との同居割合は 37.0%で全国（31.6%）に比べ 5.4 ポイント高い。

表 1 親と同居している者の数と割合（平成 22 年・平成 27 年）

（単位：人、%）

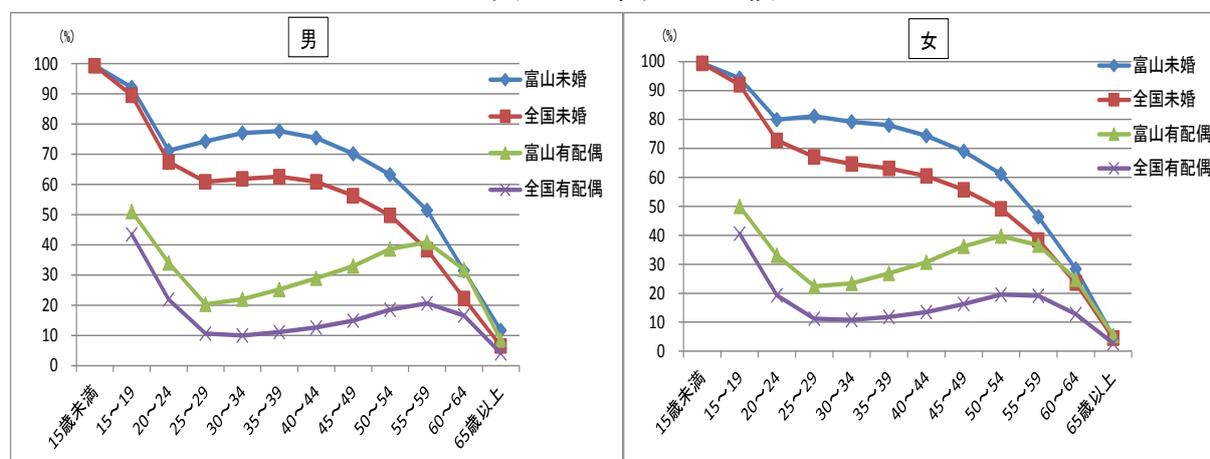
年次	区分		総数	男	女
	富山県				
平成27年	富山県	実数	430,592	227,515	203,077
		割合注1)	40.6	44.4	37.0
	全国	実数	42,751,006	22,235,923	20,515,083
		割合注1)	33.8	36.1	31.6
平成22年	富山県	実数	469,350	246,615	222,735
		割合注1)	43.0	46.9	39.4
	全国	実数	45,590,132	23,668,540	21,921,592
		割合注1)	35.7	38.1	33.4

注1)割合は、総数(同居しているか否か判定できない者を除く)に占める同居している者の割合をいう。

男女、未婚・有配偶別に年齢 5 歳階級ごとに全国と比較すると（図 1）、すべての区分で全国よりも高い割合となっている。

未婚の者は、富山県では 20～24 歳で一旦低くなった後、男性では 25～39 歳にかけて高くなり、その後 40～44 歳以降低くなっている。また、女性では 25～29 歳で高くなった後 30～34 歳以降低くなっている。

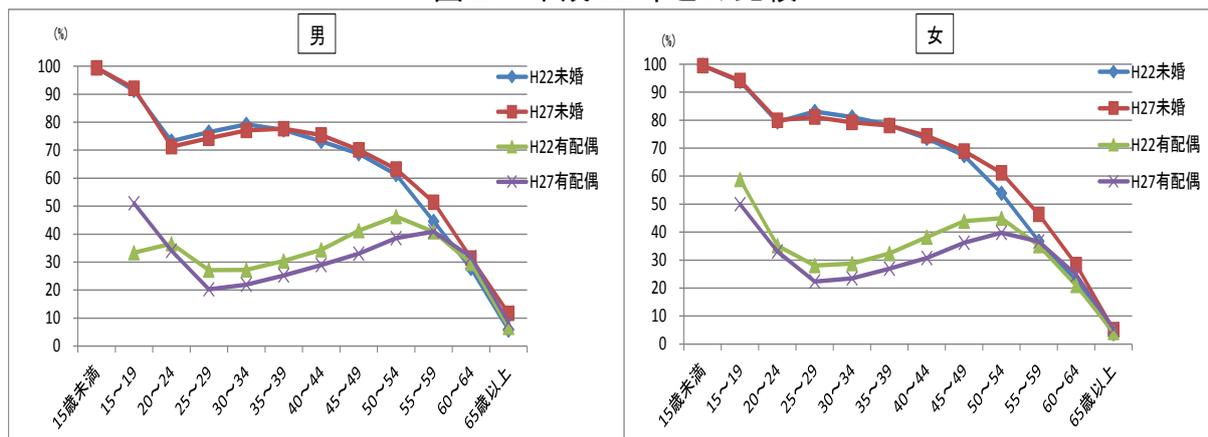
図 1 全国との比較



平成22年との比較では（図2）、未婚の者は、男性では15～19歳と35～39歳以上の各年齢段階で上昇し、それ以外の年齢階級では低下している。また、女性では15～24歳と40～44歳以上の各年齢階級で上昇し、それ以外の年齢階級では低下している。

有配偶の者は、男性では15～19歳と55～59歳以上の各年齢階級で上昇し、それ以外の年齢階級では低下している。また、女性では55～59歳以上の各年齢階級で上昇し、それ以外の年齢階級では低下している。

図2 平成22年との比較



2 母子世帯

母子世帯数は 4,613 世帯であり、一般世帯数に占める母子世帯数の割合についてみると、1.19%で全国（1.42%）に比べ、0.23 ポイント低い。

また、前回調査（平成22年）割合の 1.22% に比べ、0.03 ポイント低下している。

表2 母子世帯数と一般世帯に占める割合（平成22年・平成27年）

（単位：世帯、%）

年次	区分	母子世帯	一般世帯注1)	割合注2)
平成27年	富山県	4,613	390,313	1.19
	全国	754,724	53,331,797	1.42
平成22年	富山県	4,682	382,431	1.22
	全国	755,972	51,842,307	1.46

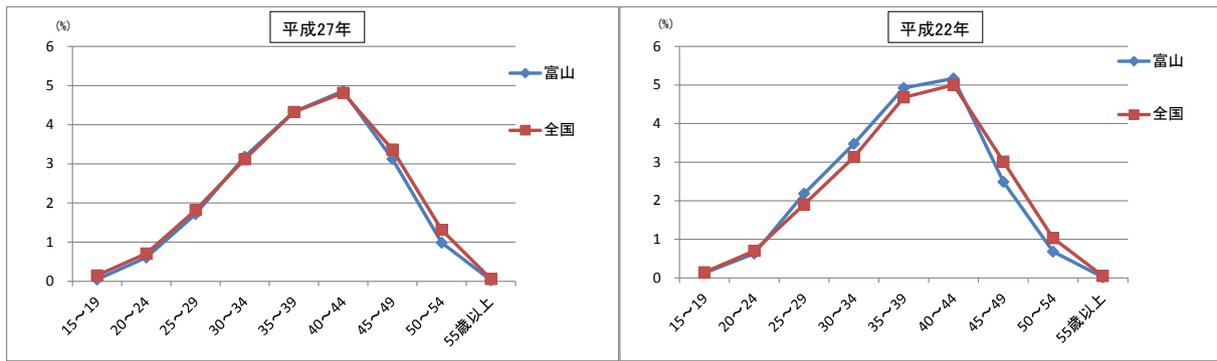
注1) 一般世帯には、世帯の家族類型「不詳」を含む。

注2) 割合は、一般世帯(世帯の家族類型「不詳」を除く)に占める母子世帯の割合をいう。

年齢5歳階級ごとの一般世帯数に占める母子世帯数の割合を全国と比較すると（図3）、平成22年と平成27年のいずれも全国と同じようなカーブとなっている。

また、富山県と全国のいずれも、そして、平成22年と平成27年のいずれも15～19歳以降割合が上昇し、40～44歳のピークを経て、その後低くなっている。

図3 年齢5歳階級ごとの一般世帯数に占める母子世帯数の割合



3 父子世帯

父子世帯数は 616 世帯であり、一般世帯数に占める父子世帯数の割合についてみると、0.16%で全国と同じ割合になっている。

また、前回調査（平成 22 年）割合の 0.15%に比べ、0.01 ポイント上昇している。

表3 父子世帯数と一般世帯に占める割合（平成 22 年・平成 27 年）

（単位：世帯、%）

年次	区分	父子世帯	一般世帯 注1)	割合 注2)
平成27年	富山県	616	390,313	0.16
	全国	84,003	53,331,797	0.16
平成22年	富山県	573	382,431	0.15
	全国	88,689	51,842,307	0.17

注1) 一般世帯には、世帯の家族類型「不詳」を含む。

注2) 割合は、一般世帯(世帯の家族類型「不詳」を除く)に占める父子世帯の割合をいう。

年齢5歳階級ごとの一般世帯数に占める父子世帯数の割合を全国と比較すると（図4）、平成 22 年は全国とほぼ同じようなカーブであったが、平成 27 年は 40～44 歳での割合の上昇が目立っている。

また、富山県と全国のいずれも、そして、平成 22 年と平成 27 年のいずれも、カーブの形には違いがあるが、15～19 歳以降割合が上昇し、40～44 歳又は 45～49 歳のピークを経て、その後低くなっている。

図4 年齢5歳階級ごとの一般世帯数に占める父子世帯数の割合

